

でんき部会々報

<http://www.kgudenki.jp>

No. 41
発行責任者
山川 和夫

新しい時代を迎えて



会長 山川和夫

(電気'77年度卒)

活用、電気自動車、自動運転の普及等、電気・電子・情報の技術が必要とされる分野は無限に広がっていくことでしょう。母校関東学院大学の電気工学科も、電気・電子工学科、電気電子情報工学科、理工学部理工学科電気学系と改組を重ね、卒業生は様々な分野で活躍しています。さて、皆様のご協力により2018年度も予定していた同窓会活動を行うことが出来ました。

11月の親睦総会では、4K、8Kの本放送直前の時期に鑑み、NHK放送博物館を見学、恵比寿ガーデンプレイスで懇親会を開催しました。今年1月には

恒例となりました「企業と大学との交流会（賀詞交歓会）」を開催し、多くの企業の皆様、先生方、在校生、卒業生が懇親を深めることができました。3月には、卒業祝賀会（新入会員歓迎会）を開催し62名の新会員を迎えることが出来ました。

でんき部会会員の皆様お元気にお過ごしでしょうか。「令和」の時代を迎え、気持ちを新たにされた方も多いこと思います。平成の時代は、阪神・淡路大震災、東日本大震災など多くの災害が発生しました。災害に遭われた同窓生の皆様には、改めてお見舞い申し上げます。

この30年、私どもが関わっている電気の分野も大きく変貌いたしました。大量生産、大量消費の時代から環境に配慮したもの作り、パソコン、携帯電話等の普及による生活スタイルの変化、アナログからデジタルへ、太陽光発電、風力発電等再生可能エネルギーの活用等、目覚ましい技術革新と発展が行われてきた時代でした。これからも、IoT、AIの

でんき部会への更なるご支援、ご協力をいただきながら同窓会活動を行っていきたいと思います。今年はラグビーワールドカップの日本開催、来年は東京オリンピック、パラリンピックの開催とビックイベントが目白押ですが、皆様にはご健康に留意され、これらイベントを堪能され、充実した毎日をお過ごしになることをお祈り致します。



2018、2019年度 燐葉会でんき部会三役

会長 山川和夫

(電気'77年度卒)

副会長 白方進

(電気'71年度卒)

幹事長 河田昌俊

(電気'78年度卒)

副幹事長 幹事長一杉和良

(電気'96年度卒)

副幹事長 波多江修治

(電気'77年度卒)

他役員は、さんよう65号に同封されている部会報別刷りを参照してください。

2019年度でんき部会総会のご案内

本年度でのんき部会の総会は、下記の通り見学会を行います。

日時：2019年11月9日（土）13:00集合
場所：いすゞプラザ

<http://www.isuzu.co.jp/plaza/index.html>

神奈川県藤沢市土棚8

小田急江ノ島線/相鉄いずみ野線/横浜市営地下鉄ブルーライン「湘南台駅」下車
湘南台駅（東口3番バス停）に13:00集合、13:20の送迎バスで移動

※見学会終了後、懇親会を行います。詳しい内容は、部会ホームページを参照してください。

理工学部理工学科電気学系 の近況について



電気学系学長 植原弘明

卒業生の皆様、ご無沙汰致しております。昨年度より理工学部理工学科電気学系の学系長を仰せつかります、植原弘明（うえはらひろあき）と申します。誠に不慣れ且つ非力ながら、皆様のご支援、ご協力により、昨年度一年間無事に業務を遂行させて頂くことができましたこと、厚くお礼申し上げます。本年度も皆様の母校をより発展させるため、精進してまいります。

さて、恒例ですが、電気学系の近況をお知らせ致したく存じます。

2019年度4月の段階で電気学系の学部生入学者数につきましては、電気・電子コース48名（定員48名）、健康・スポーツ計測コース23名（定



員20名）、計71名であり、電気学系の在籍者総数は、275名となりました。また、そのほかに工学部電気電子情報工学科の学生が2名在籍しております。一方、大学院工学研究科電気工学専攻への入学者数は、博士前期課程1名であり、前期課程の在籍者総数は7名、後期課程は3名となりました。

教員の人事異動につきましては、次とおりです。高橋健太郎先生、石坂雄平先生が大学院工学研究科電気工学専攻博士前期課程指導教授にそれぞれ昇格されました。これにより、指導教授の下に個別で指導できることになりました。

また、高橋先生はスポーツセンター長（今年度から新設された役職）に就任され、これまで学生生活部長が担当していた運動部関連の仕事のすべてを継承して担当しておられます。

「企業と大学との交流会 (賀詞交歓会)」について



副幹事長 波多江修治
(電気77年度卒)

「企業と大学との交流会(賀詞交歓会)」で就職支援を主旨として企画開催し今年で6回目となりました。

「企業と大学との交流会(賀詞交歓会)」は、2部構成で1部はOB関連企業他14社の企業様にご参加頂いての説明会。2部は場所を替え、飲食を交えての学生・企業・学校の先生方・部会OBとの直接コミュニケーションができる懇親会の場を例年同様設け、約80名の皆様にもご参加頂き盛況のうち無事終了致しました。このような形での開催は、各企業人事担当の皆様からは今回も好評でした。この開催を継続して行きたいと思います。そして今後も「企業と大学との交流会(賀詞交歓会)」を更に良いものにしたいと考えて努力してまいります。

最後になりますが、開催に当たりご尽力・ご協力を頂きました皆様にこの誌上をお借りしてお礼申し上げます。

電気学系は、現代社会のインフラの一端を担っている電気・電子分野、そして超高齢化社会の到来に備えた健康・医療機器や健康増進のためのスポーツ科学分野、および関連教育をおこなっています。

次世代の若人らが、キリスト教教育を礎に、電気・電子分野、健康・スポーツ計測分野はもちろん、理工学部の他の分野の知識を横断的に学び、専門分野の境界にとらわれない幅広い教養と知識を修得して、社会にとび立てるよう、教職員一

同尽力致しております。

数年前から1号館の侍従川側の整備が進められ、バスの停留所には屋根がつき、桜の木が植えられました。その写真(2019年3月30日撮影)をご覧になつて母校を思い出して頂きたく存じます。

改めまして、今後とも、卒業生の皆様からのお問い合わせとご協力をお願い申し上げる次第でございます。末筆ながら、皆様の益々のご健勝、ご活躍を祈念して、挨拶にかえさせて頂きたく存じます。

関東学院大学 電気工学科 昭和31年度卒同期会

柴田 隆史（電気56年度卒業）

「元気なうち毎年逢おうぜ」と言うことで今年（平成30年）も横浜中華街で同期会を開催されました。

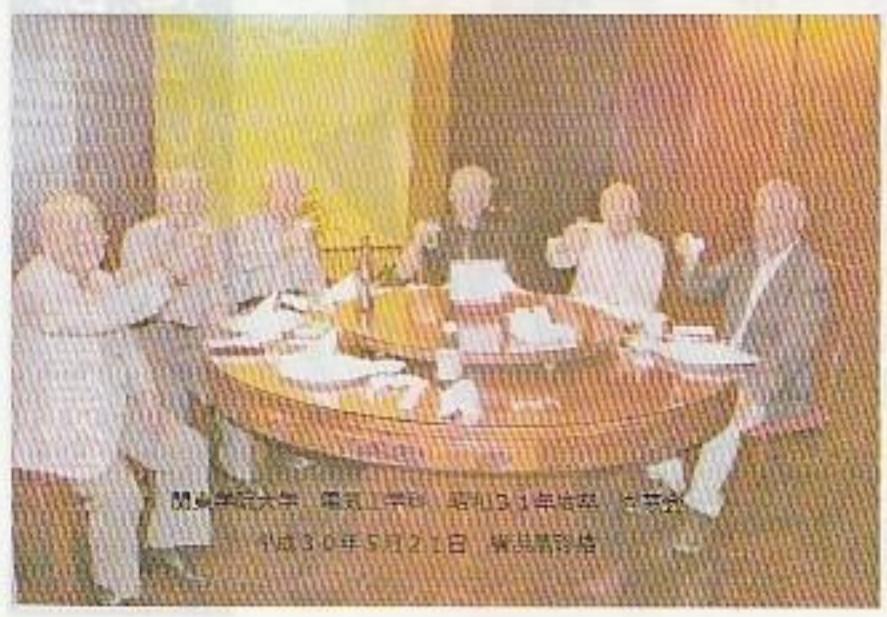
昭和31年度卒、今、平成30年ですから数えて61年前・昔々ですね・

関東学院大学の前は海でした。全校舎木造2階建で、電気科の校舎は海に沿つて建てられていましたので、冬など海からの風が校舎に当たり寒いこと、寒いこと。エアコンなどと言つ物は夢のまた夢。暖房のある場所は、図書館に達磨ストーブが一つ・達磨ストーブですぞ・講堂に二つ・だったかな・

その頃の学生です。授業のない時は、校庭でソフトボール大会、授業のある時は教室を全員でエスケープ。学校を休んで一泊旅行。

今回の同期会での出席者はエスケープ組です。勉強なんてしたのかな？

先日本箱を開けてみましたが、電気機器の中に混じり、原子力発電の本が入ってい



ました。勉強もしてたんですね。
現役の諸兄、益々のご活躍を・
第二の人生の諸兄、趣味を片手に有意義な人生を・

送技術に電気工学がどのようにかかわっているかを見ることができて有意義でした。私たちは、最後に8Kスーパーハイビジョンを200インチの大型スクリーン+22・2マルチチャンネルで体験できる映像を見ました

2018年度でんき部会 総会報告

佐々木 正哉（情報ネ07年度卒業）

2018年度のでんき部会総会は、2019年11月17日（土）に開催しました。今年度の総会は、昨年の電力中央研究所に続き、電気に関する分野に関する見学でNHK放送博物館に行きました。

今回の総会には、来賓として燐葉会より鈴木燐葉会幹事、真板経済経営学部部会幹事、柳原機械工学科部会会長、上遠野土木工学科部会会長が来られ、電気工学科幹事より石川会長が来られました。総会の出席者は、総勢23名の出席者でした。

祝賀会が盛り上がるなか、最後は例年通り、全員による校歌斎唱で幕を閉じました。

乾杯で宴会が始まりました。卒業生、大学の先生方、学生会そしてOBが打ち解け合って盛り上がる中、表彰が行われました。表彰では、電撃賞、論文賞、国際会議賞、学会発表賞、資格賞など、多くの卒業生が表彰されました。

その後、研究室ごとで集合写真が撮影されました。写真は植原学系長と島田専攻主任の研究室の集合写真になります。撮影が一段落したころ、燐葉会本部より江波副会長が来られ、お祝いの挨拶を述べられました。



NHK放送博物館にて見学を終えて集合写真

卒業祝賀会報告

理工学部理工学科電気工学科の2018年度卒業祝賀会が、神奈川県民ホール6階 英一番館にて開催されました。卒業祝賀会では新卒業生44名（電気・電子コース35名、健康・スポーツ計測コース9名）が出席されました。

祝賀会は石坂先生の司会で始まり、植原学系長、山川部会長、石川学生会会长のお祝いの挨拶ののち、島田専攻主任の



植原研究室



島田研究室

2018年度の年会費・E&C 育成基金納入についてのお礼

会計担当幹事

小川博芳

(電気'99年度卒)

会計担当幹事

田中高洋

(電気'99年度卒)

同窓生の皆様お元気ですか、6月15日にKGU関内メディアセンターにて評議員会が開催され、2018年度の事業計画及び収支決算、2019年度の事業計画、予算案が可決承認されました。年会費は101名、E&C育成基金は26名の納入頂きました。誠に有難う御座いました。

した。

東日本大震災から8年が過ぎましたがまだ原発事故とその爪跡は今も残り、昨

年は災害の多い一年で在り、一日でも早くの復旧、復興を願います。世界の情勢も不安定で、このような時期だからこそ、「人と人との支えあい」を大切にした社会構造が求められると思います。

でんき部会としても、大学、同窓会、在校生が一丸となる活動を実施すべく皆様の積極的な活動参加に期待しております。

活動については部会のホームページをご覧下さい。
2019年度も引き続き在校生の論文・研究発表に奨励賞として金一封の贈呈を致します。論文奨励賞、研究発表奨励賞は在校生の励みとなり、また同窓会との

相互の親睦が図れることで継続を強く推動してくれますので、先生、在校生と同窓生等相互の親睦が計られ充実してきたと思っています。

また、近年は少子化、経済状況等により受験生の減少、卒業生の就職難も聞こえております。1月の賀詞交歓会時には在校生との懇談に期待し、皆様のご協力の程よろしくお願ひいたします。

同窓生の皆様には、年会費、E&C育成基金納入に対し、お礼を申し上げますと共に、これからも同窓会活動にご協力の程お願いいたします。

なお、年会費、基金納入者氏名を別刷りに掲載させて頂きました。

年会費 2,000円

郵便振込口座番号

00250-3-22193

加入者名

関東学院大学燐葉会

でんき部会

年会費の納入には次の方法でお願いしています。

1. 同封の払込取扱票により郵便局にてお振り込み戴く方法。

2. OB会の各イベント開催時、現地にて現金納入を戴く方法。

2019年度も引き続き在校生の論文・研究発表に奨励賞として金一封の贈呈を致します。論文奨励賞、研究発表奨励賞は在校生の励みとなり、また同窓会との



行事案内

2019年度総会開催のご案内

本年度の燐葉会でんき学部会の総会は、見学会を行う予定です。

日ich..2019年11月9日(土)

場所..いすゞプラザ

詳細は決まり次第、部会のホームページに掲載いたします。



2020年賀詞交歓会のご案内

5年間、就職活動を行う学生への支援の場として、OB関連企業各社様のご協力を頂き大学と部会共催で「企業と学校との交流会」(賀詞交歓会)を開催致しました。

現役の学生・教員など大学の状況についてもお知らせしていくようにして、皆様に見ていただけるページを作成・運営をしていきたいと考えております。さらに、SNSなどを用いて皆様へのさらに新しい情報やお知らせをする方法についても検討しております。

日にち..2020年1月(予定)

会場..横浜・金沢八景キヤンパス

2019年度卒業祝賀会開催のお知らせ

恒例となりました、学系、学生会、部会の共催による卒業祝賀会を左記の通り開催いたします。年度末の行事になりますが、部会として新入会員としての歓迎会も兼ねておりますのでOB OG各位の積極的な参加をお願い致します。

日時..2020年3月24日(火)

会場..ヨコハマグランドインター(コンチネンタルホテル(パシフィコ横浜))

ベイブリッジカフェテリア

各行事の詳細は決まり次第、部会のホームページ <http://kgudenki.jp> に掲載しますので、そちらを参照して下さい。